程が原田内相より提案理由の

貴院各分科

防军法案(政府提出、梁蔣蔚

田良逸男

に関する經費三億七十萬間を、十二年度量算に駐海軍は航は防星に優る履防はないと思

原業經識の政院院茂原育分科前は「大統領ダアルガス氏の手許まで提「西京市語」昭和十二年度追加度」に昨年末報議院を通過後一指して

出されたまし、その後四ヶ月を終

ある、よつて殆ど現狀維持に近ぐ るを聞に『五ヶ年間農業に従来す

大統領ヴアルガス氏の手許まで提 るも親可なき鳥の諸艦の揺乱を生 を終へ三案中歌歌音楽を探摩歌歌 んでゐたが、大統領はこの程器理

何れる全會

一致可决

発館一致可決した

民勞働者案公布

好意は個人的に一切の政治問題を 人に好都合であり、大統領今回の

觀いて更生部落を観察した、この

サンパウロ州の移

-程し山崎農相より提索理由の

製を一括上程、結城蔵相及び川 法師局長官より提案理由の説明

銀行金買入法中敗正法律 檢查院法中 敗正法律案

が一般の者は服務を貢はしめず に航空の義務を貢はしめなかつた は別長義務を貢はしめなかつた

河原田內相

本法に於

杉山陸相 吳阿蒙京

ふ點については、この法案に用間に活用する考へがあるかとい

いて何か指揮監督を異にする考、平時の防空と戦事の防空につ

ジャエート空車は司令官の数令した。 を一時間にして東京、名古国、 を一時間にして東京、名古国、 を一時間にして東京、名古国、 を一時間にして東京、名古国、 を一時間にして東京、名古国、

総院提出、委員長報告)。酒精學實法案(致斯提出、通べ、十五名の委員に附託

雨彩至一括上程、幅小路委員上丁

感じた、最も揺れた部分と山梨縣などに本日午前六時十一分

●書店も讀者もピック

真行の猛烈

7

隅から隅まで面白づくめ!

内容の面自さ!!

金部資料

●関係語言をでの部的

水野甚次即氏受效

本案は一日も早く實

# 議會後急速に實現 閣僚の補充は 鐵道、拓務は政黨より求む その理由は政府は今経暦の認事進行情勢に置み、政策とはこれを政策則より求むる模様で時節病性目されてゐる 部、銀道、抵務の三配館中少くとも銀道、振務の二箇子 相は避難終了を俟つて急望にその實現を期すべく目下内(東京常語)隆て懸殺の認意限院網元については、梯音 々楽を練りついある模様であるが首相の語向としては文 は無事切り扱ける事が出来たとしても來るべき通常議會

至領は砂垢消滅したので、敗めて政院側より入職を励る までには何等かの連絡方法を講ずることが絶当必要であ るといふにあり、即或前人の入閣に際し組閣宮時の如き

定

四月十六日サンビデロ、サンチャ

四門を踏載、建力三六面の新観で である、驅逐艦は多分四、七時間

建画語に楽曲すこと。なつた、今 コ兩軍能を出港、ハワイ群局、ア

俄然子詩に歸す

伊紙が眞相を發表

署は京中出身、城大法科第

港門工人家

▲頭の職におってものに

娘らくさ

▲緊急闘闘はを飼ふ 

××××××

の年七冊もと曲輌

ットでは、 できない できない アンス代表デル ボス氏は アイデリスの定衡限議院上右イイデリスの定衡限議院上右イバーのでできない。

提質億下の課題百五十八級は来る一本年中に更に八隻総合れてある総

二十七日回題ファリカ海軍は四

上に於て年次大演習を學行するが

融合 監院司令長官ヘップ

【サンビドロ(カリフオルニヤ州) | 月下旬より一ヶ月に亘り東太平洋

香バイナシン

工口虫揭浪

**上旬より一ヶ月** 

米が年次大演習

となつたので、龍光銀内駅に関し好色を寄せることになり、その結果は焦波散議の上にも反映して各種重要教物を初め、ましも壁舵を今藤熊を通じて財首相には設すしも欧紫振觀の意図あるものでなく、組職宮時の総路は四酔の懐然に魅かされたものであることが明か 思はせた農地法案に至るまで起死回生を見るに至り、政府の劉政監開館が著しく好称するに至つたことは見逃し得ない、 である。 ともまります。 ともまります。 この既民産業の間に於ても組織官初こそ現内間に對し除り好感を指せなかつたが、く歌説でも方針を決定するに至つたものである、4. 方殿民産業の間に於ても組織官初こそ現内間に對し除り好感を指せなかつたが、 。反響を及ばすことも皆然優悪され、静館後の歌府の動きに對しては深語の闘心が辨はれてゐる 共に政策側に入限交渉が進められることは最早や確定的となつてをり、

空案を委員附託 一般が官問題の知きも同等かの形式に於てなるべく



2理由を述べ政府の所見を質す に都市批談建築に防室の必要な

ある。防空に関する助成機関と 地名で、加空に関 定されないのは 如何たら 理由かと いふが、本性は 軽殊 理由かと いふが、本性は 軽殊 理由かと いるが、本性は 軽殊 といるが、本性は 特殊 から しょう はんしょう はん はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はん まんしょう はんしょう はんしょく はんしょう はんしょく はんしょう はんしょく はんしん はんしんしょく はんしんしん はんしんしん はんしんしんしん はんしん はんしん はんしんしんしん はんしんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしんし

**真族院本會議**注





であるが、二十七日既府後開紙ジ

ユルナール・デ・イタリア紙は質

をローマ外交界では熱外とする所

が、独日来假然平職に帰した事實 として極度に随盟化した英伊脚寂寞所軍のペイイン引揚拒否を標機

# 軍縮倉議再開の時は

整加を担否することは限わて原想 日本政府が主力艦原配口管総限に 【紐育廿七日マイヤー特派員蔵】一般官邊では即に意情を示してはる。る真の軍編を達成しようとい 的のみの態限には勝じ得ない」と 内容において『英雄部膜を離れる』門戸をなほ開くものであるとし、ないが、然し佐藤外相がその回答。本政府の意向は総治的単層が誤の

日本政府の立場を則に明かにした 前限を問題とせず、最的制限にすっ 的位面を有するに過ぎない質的 みてゐる。即も實質的には裝|欄し外交的部院交換を希望 英米間に東海野諸県開の後運が起

## 野口工業王國の新興工業都市を祝 は第一日には近代工業の精を読る 【過度にて社田特別員録】南陽音 南總督元

上海隅面登出流場を観察し度付高。 ボヤーニー・カルチー・サース成実館を出郷、自然心にて、られて元山に向った。 配羊場、羊毛加工場の成南におけ

けふ卒業式

德 風 幼 稚 園

指総督が初度巡視のため来蔵中の

亘つてかなりの地震があり市民を 分頭東京を中心に関東地方一番に 【要京電話】二十八日午町六時十 成素電話 廿八日午町三時 咸興の火事

七日大田より京城通過路任不衰入少將(歩兵卅九底圏長

本日曉星雙紙休載

全 市 北東の島 野市 神の 中 市 北東の島 野市 地画の島 野市 いたり

部1原石 同 盛つたり

石田田

【明日】西の風雨一時祭地方 【今晩】西の風

あす朝刊休み

日曜不

市本務所運輸係動務 斯上縣長栃 個大記《命節上縣長 印海縣長市 個五人命莊紅縣長 即內聽長所水 原《命施林亭縣長 島內聽長所水 京 (第四) 計画

10月夏本記録でに近見り

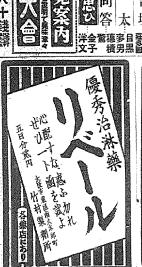
有 島

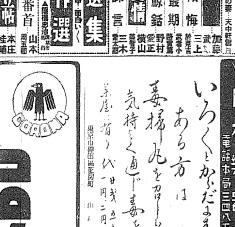
通

男

Щ

をある。 本語は 一記見言語と に A. 電影 動敵 **全點** 能長 脇 差 ▲糯鱶性者の 討 真言 繪





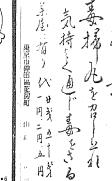


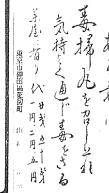
挖 福 帖 强



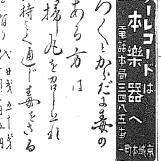


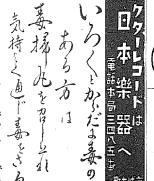












**企物域院**现夜

金輪語正

成

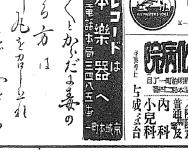
Ø

▲競機・田ブの一段

●髑盤死戦の

▲韓語語出

札











中山晋平中山晋平中

● 資 登 新 舶来に優る

WILLIAM STATE

雪に於て建策機とハワイ群島の院

るが、ヘップパーン是餐は遊習可 演習は海軍當局で厳密に附してあ 顧問を試みることとなった、右

驅逐艦十六隻建造を

お求めは早く疑問一定價六 十鐵鐵





В

薬 娘



【清津】本年二月椒

着手した、住不斯は 通列車運動の機關に

でこの國際別事運動り清散面壓減退の上間時に韓産動場資油。便は王大なものがあ

からも大きな期待を

間通すると同時に 通り他が範囲の 通り他がを関すると同時に であると同時に であると同時に であると であると である。

待望の直通列車

の秋から運轉

所留は豫別された如く汚物所除で除設備費と併せて審議、この日の

阿爾投が高くなるのはどうした。 如何、また京城に比較して馬匹」 投が前年に比して多過ぎる理由 である。

と記数的に確い質問をなし、これ

つて大学呼吸し速かに探摩、祭し、財子にいから探決は二国館の終了。「関に脱交を守る、未然解検別によ、財子にいから探決は二国館の終了、に家神政から動館の体質に関重を上属したい。 議員の費用辨償で ケ議員捨台詞残し續々退場 すで保留されたいとの態見が出で と前提して脱綻数膜の安協範を接

收拾難の大邱府會 

| から公用||の饗用線附生原を削離せの中部を || 記述版でたので已むなく午後五紀を実現。像いて単版がは、駅在同情すべ | 際に協つたので已むなく午後五紀を実現。 | の製造を出て収拾すべからざる | には || の製用線附生原を削離せの中部を || 記述酸度作は 概技機器である。 役人、就順中の張女を蹴叫し金をしまるとの評判である、果して事 米院皇洪和能方に二人組の怪漢か。同人能獨事業のかたちで經常しつ

米俵を奪つて逃走

沃溝郡下に四人組

3得週にある消防手の退職手五七 | 生散館した

参與員もダデーへ 釜山府豫算委員會

上既く市動脈節翼は駆時動作動脈 り、ついで機関譲越は常部微観翼から質問を観け、前日 てある關係であると」の答案があ 

内紛明るみへ

| 大田田 | (田名) では先つ場(田名) では先つ場(田名) では先つ場(田田 | (田名) では先つ場(田田 | (田田 |

類びたい 類はされた諸具各位に御再考と 酸いて金水監視員か に加工を表記していた。 をいて金水監視員か 電分に包まれ午後六時十分閉窗 (京分に包まれ午後六時十分閉窗 (京分で)。この外尉庁との交通 東い該議の出る頃には売物を埋の 東い該議の出る頃には売物を埋の 東い該議の出る頃には売物を埋め が表示した。

先づ六郡に耕地三百町步設定

|成束世に火軍のある尻を棄てたた||動中 平北の十ヶ年計畫

選せしめることに決定した、これ旋ば付し收極後に賃付の半分を返 の計地を設定、大要は指線地份か 小柄の男

一である。「何は上流地骨の畑作炭酸に多大の

つた米俵三県を増いて連走した。 にもせよ、どんなものかと非縁され、と答べると土間に積んであ、利用するが如ぎ、よしんば一時代 無い」と含べること可ごをした。 「親子して他人名義の登業機を駆い のは、親子して他人名義の登業機を駆い は思き角第一米だその鶏の誰可も 廿六日夜半天游都巡 図館 | 容味を一切許さないこととし領決

配した新規問題から個欠した配しるので最終問題の那事略三名は即 七分頃四内和泉町忠北郎一て現金四十回を温存逃走した犯人一 断はならぬぞ の爲技績を冠つた一名の怪滅が成したが派仕六日朝何時も早起きの 国家、島歌院里来歌商祭先生氏。 州郡と忠田無殿郡との境界島川の 内すると砂し唱曲の健橋はあつた 八万にタンク下式を着用し茶物色 | 次は食事をすませてその側に膨 『清州』二十七日年順三時半頃清 | 菜祭のことであり他居が部屋に深

**新炭置場の火事** 

僅か四十分の間に

**犬邱馨方面に向つて展走して来る** [大邱] 甘七日午後零時十分頭達頭

入學の凱歌

千田アヤ子、 西研泰子、 吉川路多県子、岩田八重、松本秋子

部 も籍先きを描くて質問難を展開し、中島、李築彦、松陽、開闢各語戦時 便所六ヶ所に過ぎぬ事實も物明、

佐藤府尹、憤然色をなす

日目の群山府會大揉

孫院の新計造につき茂密集階としと語め寄れば財部院主任より汚動

と怒鳴り出し汚物掃除を中心とし

ある」と答ふるや色をなして長

●一生幸福の基が出來る

大切な魂の糧となる

本一部進呈 名古屋市中區 芸入申込者 各官廳推獎の日本で 三餐鷄之日 專業器 本一部進呈 名古屋市中區

で一番魚い指

西村で西店の店は太田雄二(ごと)

社の繪本」が一はんです。お子さんへの贈り物は「講談

勇弘道の類似。 自防他の土産 自病乳見舞に自入學のお訳。 自海観の北配 自治域の北配 自治域の北部 の節ほうびに の物が立派で風段が手頃ー

育家擧つて大賞讃!

な與べ下さい

供は大喜び!

『殿総社の総本』は十四册出てゐて、どれも大陸物です。

家庭用

しめる理想的の名書帖!大人も大歡迎! 家中で樂

必ず質器を整くします。

良初生雛提供

堂光彩原水 +九==#走司於明

各官殿馬用

時報無代進呈

服部養

赛

概替京城 | 二五六番

す質器を丈夫にすごす事ができます。質器を丈夫にすごす事ができますの苦みから過れるばかりか、いつの苦みから過れるばかりか、いつい間を整くする作と同時に、翻い胃器を防ぐ

本

**曾商欽藤近**嘉

原本與技術 全拾雪園五拾銭 五女旦 夢 金 九 面面五拾銭 

**※ 正口条内** 

「現場」を ・ では に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に 

區等領土區上新吉45 區等領土區上新吉45

(鉄二要)呈送知効

| **| 5現版室學天** | 日丁二町本城京 | 元二一京場 | 計畫「②图本電

皮膚泌尿花柳病

醫學博士渡邊晋 京城武金町入口 日本生命裏

特別拿贝

診臓 十二時年マテ及ビタ到

學習過程

受職生る集

クロダ歯科 本 一 本 柳 病 男 門 ( ) ) 入札竇地案内 製布町二丁自五番地ン五 製布町二丁自五番地ン五 製布町二丁自五番地ン五 地方は所有倉市市本の六四七六番 地方は所有倉市市本の六四七六番

御用質額ひます

造製の手事 無機能性が持續を持続ですり を 所述を持続を持つ。 を 所述を持続を持つ。 を 所述を では、 を 所述を では、 を のかから、 ののから、 ののがら、 ののから、 ののがら、 

釀治明

ø

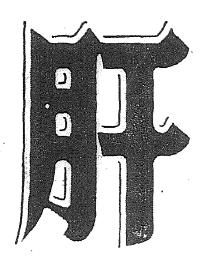
調整権

**)** 



(**...**)

許特明 發





症應適

所究研業工産水海北 離 元造製

# 

著明な造血作用を有し悪性貧血に特効ある肝 大力の疾病を強防治療と 酵素に依て消化を促し アミノ酸はその健吸やせられて榮養を充足し 其他肝油・グリコーゲン・燐化合物・コレス すルモンの資源となり 牛膽汁は結 を放った。 が放に 二大成分の協同作用を行ふ が故に 二大成分の協同作用を行ふ が故に 二大成分の協同作用を行ふ が故に 二大成分の協同作用を行ふ が故に 二大成分の協同作用を行ふ が故に 二大成分の協同作用を行ふ 肝油が服み難くて胃腸を害すると云はれた時代は過ぎて 今や服みよく然も消化し易い肝機を一掃したと云つても過言ではない 本劑鍵を一掃したと云つても過言ではない 本劑は助宗鱈の肝臓を特殊の工程により粉末となため特に牛膽汁を配合した特許の製劑であるため特に牛膽汁を配合した特許の製劑である

大成分の効果

汁膽牛· 臟肝鱈

ė n



**癒を促進しよく複合的榮養劑としてに導き漸次体力を充實して疾病の治弱せる胃腸細胞を賦活して之を強壮** 

元 資 發 店商吉友澤藤 社會式株

町門小西府城京 町本區橋本日市京東 町修道區東市阪大

nci

